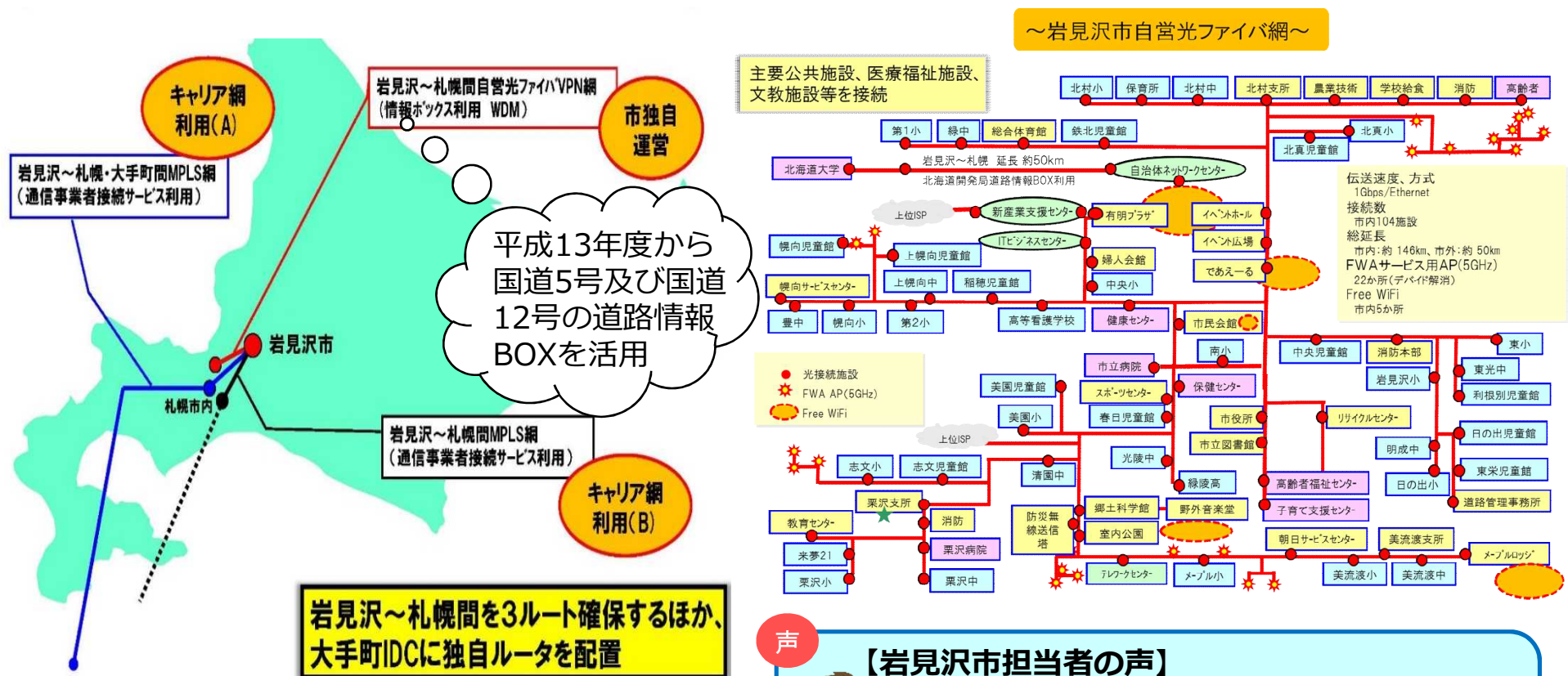


- 岩見沢市では、平成5年度からICT施策を推進し、基礎自治体として全国初となった自営光ファイバ網（総延長約196km）を整備
- 約50km(岩見沢～札幌間)で北海道開発局の道路情報BOXを利用



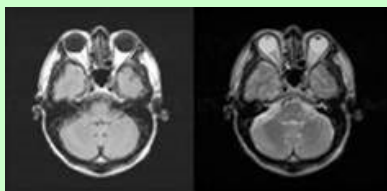
H15～H27 医療分野～遠隔画像診断～

▶ 北海道開発局の道路情報BOXを活用しつつ、平成15年から北海道大学病院とのネットワーク連携のもと、大学病院側専門医による遠隔画像診断として、「放射線画像診断」や「放射線治療支援」などの高度医療環境を構築

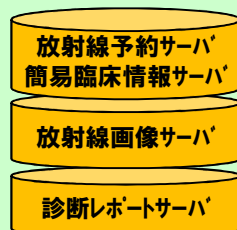
遠隔画像診断(平成15年より実用)



北海道大学病院
(大学発ベンチャー)
画像診断専門医による
レポート作成



自営光ファイバ網(岩見沢～札幌)
北海道開発局道路情報BOX利用



自治体NWC

自営光ファイバ網(市内)



岩見沢市立総合病院
画像診断の依頼

【成果】

◆患者負担の軽減

・検査前
住民が検査を受ける場合、本システム展開前は医院の紹介状を持参し検査予約を行いあらためて検査受診
↓
医院受診時点で検査予約が可能となり、予約日に受診するのみ

◆検査結果の迅速化

・検査後
診断が困難な場合、大学病院等の画像専門医に診断を依頼
週1回の来院時に件数限定で依頼
↓
本システム運用により、当日若しくは翌日の専門医診断を実現
結果判定まで最大2週間程度要していたものが1日に短縮

実績例

対象モダリティ:CT、MRI、RI
総検査数: 19,039件/年
うち遠隔診断数:5,464件/年
28.70%

※ICT活用前は0件

遠隔画像診断に加え、平成21年度より「放射線治療計画策定」から「放射線治療全般」を遠隔でサポートする「遠隔放射線治療支援システム」稼働開始

H28～現在 健康分野～遠隔健康相談～

➤ 平成28年からは民間、大学・研究機関、岩見沢市による産学官連携プロジェクト「遠隔健康相談」や、カウンセラー、保健師、往診対応医師による連携プロジェクト「無医地区健康サポート」などを展開するICT基盤に、北海道開発局の道路情報BOXが活用されている

遠隔健康相談(平成28年より実用中)



北海道大学大学院
保健科学院

自営光ファイバ網(岩見沢～札幌)

北海道開発局道路情報BOX利用



自治体NWC

北海道大学COI「食と健康の達人拠点」(平成27年度～)の研究の一環として実施



自治体ネットワークセンター4階「地域ヘルスセンター」では、市民(特に企業の方)を対象としたお手軽健康チェック(自己採血、体組成測定など)のほか、北海道大学大学院の保健師との遠隔健康相談を実施。